

変化・変動への対応力を高める

生産管理能力強化セミナー

演習つき

強化の鍵となる「実行管理」を徹底解説！

開催日時	2026年 7月16日(木)～17日(金)	オンライン	各回2日間とも 10:00～17:00	
	2026年 8月25日(火)～26日(水)	大阪会場		
	2027年 1月19日(火)～20日(水)	オンライン		
対象	・生産管理部門の方 ・生産管理の仕事を改善したい方			
講師	松井 順一 氏 コンサルソーシング(株) 代表取締役	参加料(税込) 法人会員：104,500円/1名 会員外：115,500円/1名	<small>※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認/同意のうえお申込みください。</small>	

ねらい

想定外の急激な環境変化やビジネスのロングテール化、IoTの進展などによってもものづくりは激しい変化の波にさらされています。

これまでは売れるスピードに追随し生産計画力を上げて対応してきましたが、昨今の変化には対応しきれず現場が混乱するケースが多くみられるようになりました。そこで今、注目されているのが注文に対応する実行力を上げる「**生産の実行管理**」です。

本セミナーでは、現在の環境下で多くの製造業が直面している課題について解決のアイデアを提供すべく企画しました。1日目は生産管理の基本となる仕組みづくりと生産計画を押さえ、2日目には主役となりつつある「**実行管理**」の進め方について効果的なフレームワークの事例とともに学んでいただけます。**変化・変動に強い生産管理**を目指す方はぜひご参加ください。

参加者の声

- 他社の生産管理の方と意見交換できた事が非常に有意義でした。
- 少量多品種生産に傾いている現在の市場傾向に対応する生産管理のあり方はとても勉強になりました。
- かんぱん方式や差立て版などの演習が多く、深く理解することができた。”
- いまのやり方に限界を感じていたタイミングで受講できました。これからは計画が当てにならない時代というお言葉がかなり納得できました。改善は常識にとらわれない、打ち破るというのが印象に残っています。
- これまでは仕事のしやすさなど目の前の改善ばかり考えていましたが、お客様にとってどうあるべきなのか、付加価値とはなど考えさせられました。

■ プログラム		2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00
1日目: 変化・変動に強い生産管理の仕組みづくりと生産計画	2日目: 変化・変動に打ち勝つ生産の実行管理の進め方	
<p>1 ものづくりを取り巻く環境</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビジネスのロングテール化とものづくりへの影響 • 想定外の外部環境の急減な変化 • IoTの進展による管理フレームワークとツールの変化 <p>2 変化・変動に強い生産管理の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> • 変化変動に強い生産管理上の最強の武器とは • 納期とリードタイムの差の最大化による変動対応力アップ • システム連携と連動化による変化への追随性のアップ • プロセスチェーンマネジメントシステムの構築 • 製造実行管理システムを主役とする <p>演習 かんぱんによるプロセスチェーンマネジメントの体験</p> <p>3 変化・変動に追随する生産計画へのチェンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 変化変動時代の生産計画の問題点 • 日程型生産計画からの脱却 • 日経型生産計画シスの生産管理モデルとは • 変化変動時代の生産計画の項目と計画立案の実際 • 実需連動型ローリング生産計画のポイント • 受注生産のプロセスチェーン生産計画のポイント <p>演習 実需連動型ローリング生産計画の仕組みづくり</p>	<p>4 生産の実行管理の基本と要素</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生産管理において実行管理が主役となった理由 • 製造実行管理システム(MES)とは • 実行管理の要素と要件 <p>5 生産の実行管理のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • MES(製造実行管理システム)の全体像 • 生産リソースの配分と見える化の仕組みのポイント • 生産ドキュメントの共有と変更管理のポイント • 生産と連動した設備と治工具の寿命管理と保守管理 • タイムスケジュールコントロールのポイント • 作業体制の計画と作業指示管理のポイント • 生産実績データと記録の収集とF/B、F/Fのポイント • タクトタイムによる異常トラブルの見える化と改善 • 変化点管理の管理体系とポイント <p>演習 製造実行管理システムの管理フロー図の作成/変化点管理体系の設計と管理ツールの作成</p>	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。